

全国小・中・高指導者研修会 公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 平成26年度 全国小・中・高指導者研修会 報告



北海道から沖縄まで、全国の小学生から高校生までの指導者が一同に会しての小・中・高指導者研修会が今年も2月に大阪で開催されました。今回は「フェアプレー・マナー」「暴力撲滅」「愛好者増加対策」「競技力向上」等について熱心な話し合いが行われました。

会場の大阪アカデミア

2日間の日程

1日目は大川京子生涯スポーツ委員長の開会挨拶の後、まずは笠井達夫専務理事より日本ソフトテニス連盟の平成27年度事業計画およびソフトテニスの現状と課題について、昨年11月30日に開催された

日本連盟臨時評議員会の報告の形を通して説明しました。また、2020年の東京オリンピックに向けての諸活動についての日本連盟の方針、考え方を説明するとともに、昨年の研修会に続き暴力撲滅に向けての手続きについての周知を行いました。

次に川島登環境・教育プロジェクト委員長より「フェ

【日本ソフトテニス連盟参加者】

No.	区分	役 職	氏 名
1	連盟	専務理事	笠井 達夫
3	連盟	常務理事・競技委員長	柳下 秋久
4	連盟	常務理事・総務委員長	和歌浦信雄
5	連盟	理事・生涯スポーツ委員長	大川 京子
6	連盟	理事・環境教育プロジェクト委員長	川島 登
7	連盟	理事・強化委員長	神崎 公宏
8	連盟	理事・中体連ソフトテニス競技部長	林 昭文
9	連盟	生涯スポーツ委員・小学生部会長	金岡 昭房
10	連盟	高体連副部長	霊池 恵量
11	連盟	理事・アンチドーピング委員長	北本 英幸
12	連盟	理事・指導者育成部会長	野際 照章
16	連盟	日本代表・女子コーチ	高川 経生
17	連盟	U-20・男子監督	中津川澄男
18	連盟	U-20・男子コーチ	浅川 陽介

No.	区分	役 職	氏 名
21	連盟	U-17・男子監督	池田 征弘
25	連盟	U-14・男子監督	橋本 康德
27	連盟	U-14・女子監督	安達 和紀
29	連盟	日本代表男子トレーナー	川上 晃司
31	連盟	U-17 男子トレーナー	中野 道治
33	連盟	日本代表女子トレーナー	吉川友巳奈
34	連盟	U-20 女子トレーナー	高川 亜紀
35	連盟	U-17 女子トレーナー	橋本 貴子
36	連盟	U-14 女子トレーナー	上田 未来
37	連盟	アドバイザー	小野寺 剛
38	連盟	事務局次長	玉木 進
39	連盟	事務局	堀内 大
40	連盟	大阪府連盟理事長	阿部 宗一

アプレー・マナーの指導」について各都道府県に依頼した「フェアプレーとマナー 実態調査」のアンケート集計結果を、小学校・中学校・高校別及び全体について、プレーヤー・指導者・観客・役員の項目別に説明しました。併せてアンケート集計結果の内容も踏まえてマナー倫理教本（仮称）を作成中であり、

平成27年度には完成させたい旨報告がありました。また、昨年作成した環境・マナーの横断幕（環境宣言『来たときよりも美しく!』フェアプレー宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』）の意味を理解して、環境保全、マナー向上をさらに促進してほしい旨を依頼しました。

【各支部参加者】

No.	区分	支部	役 職	氏 名
41	小学	1	北海道	冬澤 実和
42	中学	1	北海道	庄司 浩人
43	高校	1	北海道	早川 真司
44	小学	2	青森県	
45	中学	2	青森県	奥寺 努
46	高校	2	青森県	船水 宏二
47	小学	3	岩手県	内澤由理子
48	中学	3	岩手県	菊地 晃秀
49	高校	3	岩手県	内藤 真一
50	小学	4	宮城県	鶴谷 圭二
51	中学	4	宮城県	根元 勝美
52	高校	4	宮城県	根本 光泰
53	小学	5	秋田県	福田 浩
54	中学	5	秋田県	渡辺 泰介
55	高校	5	秋田県	河田 好則
56	小学	6	山形県	安孫子秀次
57	中学	6	山形県	村上 康広
58	高校	6	山形県	
59	小学	7	福島県	菊田 茂男
60	中学	7	福島県	小林 慎司
61	高校	7	福島県	星 正人
62	小学	8	茨城県	橋本 竜一
63	中学	8	茨城県	北村 達則
64	高校	8	茨城県	大涌 暢彦
65	小学	9	栃木県	岡崎 裕
66	中学	9	栃木県	長 訓昭
67	高校	9	栃木県	菊池 紀夫
68	小学	10	群馬県	石田 和久
69	中学	10	群馬県	原田 佳幸
70	高校	10	群馬県	中島 啓介
71	小学	11	埼玉県	佐藤 浩康
72	中学	11	埼玉県	鈴木 顕
73	高校	11	埼玉県	山下 成巳
74	小学	12	千葉県	溝端 雅彦
75	中学	12	千葉県	河西 政道
76	高校	12	千葉県	中澤 紀夫
77	小学	13	東京都	花園 智弘
78	中学	13	東京都	糠信 浩之
79	高校	13	東京都	高橋 慎典
80	小学	14	神奈川県	松口 康彦
81	中学	14	神奈川県	高梨みどり
82	高校	14	神奈川県	岡部 正
83	小学	15	山梨県	雨宮 由美
84	中学	15	山梨県	渡邊亜希彦
85	高校	15	山梨県	榎並 克典
86	小学	16	新潟県	小野 道康
87	中学	16	新潟県	坂井 真琴

No.	区分	支部	役 職	氏 名
88	高校	16	新潟県	阿部 浩治
89	小学	17	長野県	土屋 和博
90	中学	17	長野県	八田 修
91	高校	17	長野県	松橋 浩一
92	小学	18	富山県	細木 誠
93	中学	18	富山県	亀田 健太
94	高校	18	富山県	三木 信吾
95	小学	19	石川県	長元 実
96	中学	19	石川県	大路 貴之
97	高校	19	石川県	青木 崇
98	小学	20	福井県	池田 秀樹
99	中学	20	福井県	土田 郷平
100	高校	20	福井県	山本 真司
101	小学	21	静岡県	渡瀬 義正
102	中学	21	静岡県	小野 康弘
103	高校	21	静岡県	野澤 明彦
104	小学	22	愛知県	毎田 敏
105	中学	22	愛知県	山口 恵
106	高校	22	愛知県	畑中 英希
107	小学	23	三重県	橋本 直也
108	中学	23	三重県	中田慎太郎
109	高校	23	三重県	斎藤 彰
110	小学	24	岐阜県	國枝 俊子
111	中学	24	岐阜県	野口 禎尚
112	高校	24	岐阜県	安部 博貴
113	小学	25	滋賀県	藤居 裕士
114	中学	25	滋賀県	黒川 敏也
115	高校	25	滋賀県	田中 靖
116	小学	26	京都府	小林 静雄
117	中学	26	京都府	原田肇・上田竜次
118	高校	26	京都府	桜井 友樹
119	小学	27	大阪府	堀切 浩代
120	中学	27	大阪府	本西 義民
121	高校	27	大阪府	
122	小学	28	兵庫県	芝地 康幸
123	中学	28	兵庫県	水田 孝
124	高校	28	兵庫県	金井修一郎
125	小学	29	奈良県	石上 稔
126	中学	29	奈良県	岡田 守弘
127	高校	29	奈良県	西岡 健
128	小学	30	和歌山県	塩路 芳樹
129	中学	30	和歌山県	
130	高校	30	和歌山県	貴志 裕文
131	小学	31	鳥取県	安達 功
132	中学	31	鳥取県	山根 淳吾
133	高校	31	鳥取県	柿本 琢也
134	小学	32	島根県	山下 直樹

No.	区分	支部	役 職	氏 名
135	中学	32	島根県	矢田 卓
136	高校	32	島根県	河野 高幸
137	小学	33	岡山県	橋本 恭司
138	中学	33	岡山県	木科 孝夫
139	高校	33	岡山県	寺坂 鋭子
140	小学	34	広島県	畠山 洋二
141	中学	34	広島県	上貝 一介
142	高校	34	広島県	木下 善裕
143	小学	35	山口県	松田 秀樹
144	中学	35	山口県	福田 光正
145	高校	35	山口県	友光 正志
146	小学	36	徳島県	
147	中学	36	徳島県	山岡 雄貴
148	高校	36	徳島県	結城 健太
149	小学	37	香川県	小野 俊博
150	中学	37	香川県	梅谷 知数
151	高校	37	香川県	山口 高德
152	小学	38	愛媛県	井上 暢
153	中学	38	愛媛県	横 光一郎
154	高校	38	愛媛県	浦田 雄一
155	小学	39	高知県	西森 隼也
156	中学	39	高知県	山本 大造
157	高校	39	高知県	村上 和広
158	小学	40	福岡県	中村 正広
159	中学	40	福岡県	龍 大介
160	高校	40	福岡県	谷 慎介
161	小学	41	佐賀県	川原 俊彦
162	中学	41	佐賀県	有須田修治
163	高校	41	佐賀県	福井 雅史
164	小学	42	長崎県	小竹 勝
165	中学	42	長崎県	宮原 寛之
166	高校	42	長崎県	塩田 孝博
167	小学	43	熊本県	岩下 敏和
168	中学	43	熊本県	池田 完治
169	高校	43	熊本県	園田 崇智
170	小学	44	大分県	上野 浩之
171	中学	44	大分県	芦刈 明
172	高校	44	大分県	平原 英和
173	小学	45	宮崎県	小西 常夫
174	中学	45	宮崎県	西岡 知雄
175	高校	45	宮崎県	黒木 章宏
176	小学	46	鹿児島県	大原 一郎
177	中学	46	鹿児島県	加藤 秀俊
178	高校	46	鹿児島県	
179	小学	47	沖縄県	末吉 勇友
180	中学	47	沖縄県	宮城 晃
181	高校	47	沖縄県	東 竜一郎

休憩の後、小学校、中学校、高校の3部会に分かれて「フェアプレー・マナー」「暴力撲滅」「愛好者増加対策」「競技力向上」等につき活発な討議を行いました。

2日目は各分科会からの討議結果の報告が行われました。報告内容については後記で参照ください。各分科会からの報告の後、出席者の方から

- ・分科会で発表のあった各都道府県の取組みが日連のホームページで見られる様にしてほしい。日本連盟のホームページにマナーについても載せてはどうか？
- ・ジュニアで主流となってきたダブル後衛についての日連の考え方
- ・日連の平成27年度事業計画の中に記載の「肩から下でのカットサービスの禁止についての検討」についての進捗状況等についての質問があり、日本連盟として検討していく旨、及びカットサービスの現在の検討状況について説明しました。

分科会からの報告の後、神崎公宏強化委員長より、昨年韓国仁川にて開催された第17回アジア競技大会の結果（韓国が金メダルを独占、日本は国別対抗男女銀メダル、女子ダブルス銅メダル）についての総括を行い、代表チームまとまっての練習時間が、韓国・中華台北に比べて少なからざるを得ないという現実を踏まえ、選手の所属団体・地域の指導者のご支援を得ながら毎年の国際大会を頑張り、3年後のアジア競技大会で是非とも良い結果を出す様に努力していきたいと意志表明がありました。その後、北本英幸強化・指導委員会副委員長より本年より世界アンチ・ドーピング規程が大幅に改訂になった（罰則規定が厳しくなり、選手だけでなくまわりの指導者等に対しても罰則が設けられた等）ことにより、日本でのアンチ・ドーピング検査もこれに従うことになった旨説明があり、川上晃司日本代表チーム男子トレーナーより詳細説明がありました。

その後北本副委員長より、新指導教本内容を元に



小学生部会の様子

昨年のアジア競技大会での女子国別対抗決勝シングルス及び男子国別対抗予選リーグシングルスの映像を紹介しながら、日本選手の評価すべき点および課題等について説明を行いました。

最後に大川委員長が閉会の挨拶を行い、2日間にわたる指導者研修会が終了しました。

小学生部会の内容

フェアプレーとマナーについて

- ・保護者、ベンチ入りするコーチに注意することが必要。
- ・マナーをルール化して、周知徹底の放送をしてはどうか？
- ・イエローカードをジュニア審判取得時に渡してはどうか？
- ・審判台にイエローカードと審判ワッペンを置いてはどうか？
- ・指導者には少なくとも2級審判を取ってもらう様にした方がよい。

暴力撲滅

- ・暴力については大会前に指導している。試合中もパトロール等行い、勝ち負けにこだわり過ぎた結果が暴力にならないように注意している。
- ・親子間の暴力への対応が難しい。
- ・他人との比較による叱責が精神的なダメージを与える。
- ・しっかりコミュニケーションを取って、無視しないことが大切。

愛好者増加対策

- ・冬の間、小学校の体育館で高校生までを含めた少年団でソフトテニスを行っている。（福井県敦賀市）
- ・保護者へのアピールが、生涯スポーツの観点からも大切。
- ・スポーツ店、コンビニ等にポスターの掲示を依頼している。（静岡県）

競技力向上

- ・良いところを褒めよう。フェアプレー、マナー向上にもつながる。
- ・一回戦で負けても胸を張って帰れるように。
- ・前衛不足 昨年Step-4ではU-14は前衛が一人もいなかった。小学生で（サービス、レシーブ、ボレー、スマッシュが出来る）前衛を育てる時間がない。全小に出ることがステータスのため、どうしてもダブル後衛の方が勝ちやすい。（本件については、小学生分科会に出席の野際理



中学生部会の様子

事・指導委員長より、日連としても、Step-4の選考も含めてオールラウンドプレーヤーが育つように、強化方針を検討したい旨の発言があった。）

中学生部会の内容

フェアプレーとマナーについて

- ・全体的にマナーは良くなってきていると思う（監督会議での徹底等（岩手県））。試合後の握手はよく出来ている。